

POL300GA

## 国際社会演習ーグローバル化と政治理論ー

大中 一彌

配当年次／単位：3～4 年／4 単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学を卒業すると「社会人」となるといわれます。では「社会人」がその一員となる社会とは、どのような場所なのでしょう。例えば、この社会は「まとも」な社会なのか？と問うてみることにします。もしあなたの答えが「この社会はまともな社会である」なら、それはどのような理由で「まとも」だといえるのでしょうか？ また、もしあなたの答えが「まともではない」なら、それはなぜでしょうか？ また、その「まともではない」社会で私たちはどのように振るまえば良いのでしょうか？ この演習（ゼミ）では、私たちが「社会人」となるにあたって出会うこうした問いをめぐり、自分の頭を使って考えることができるようにトレーニングしていきます。

## 【到達目標】

1. テレビの情報番組や、Yahoo!などのネット上のニュースやいわゆる「まとめ」サイトをもっぱら情報源としていませんか？ これらの情報源が間違っていたり、偏っていたとしたら、どうしたらよいでしょう。この演習（ゼミ）では、大学生にふさわしく、ニュースの内容や、それが作り出される過程を批判的に考察できる能力（リテラシ）を身に付けることを目指します。

2. 1. の目標を達成すべく、教養としての政治学をこのゼミでは学びます。2018 年度の春セメスターでは、**政治学のなかの政治理論**という分野の基礎を身に付けます。秋セメスターでは、応用編として**シティズンシップの概念**を軸にトレーニングを行い、海外や国内のニュースを分析できるようにします。

## 【授業の進め方と方法】

1. 教科書の輪読（授業内の発表+議論）  
2. 新聞コーナー（学生による話題提供、報道のされ方の分析、討論）

## 【授業計画】

## 春学期

回	テーマ	内容
1	初顔合わせ	ゼミ長の選出 輪読や新聞コーナーの担当日程決定
2	政治理論の始め方	教科書① 1-18 頁に関する学生の発表と議論
3	政治とは何か	教科書① 19-36 頁に関する学生の発表と議論
4	「私の勝手」で済むか？	教科書① 37-50 頁に関する学生の発表と議論
5	どうして助け合わなければならないのか？	教科書① 51-64 頁に関する学生の発表と議論
6	あなたも「不正義」に加担している？	教科書① 65-78 頁に関する学生の発表と議論
7	みんなで決めたほうがよい？	教科書① 79-96 頁に関する学生の発表と議論
8	多数決で決められればよい？	教科書① 97-114 頁に関する学生の発表と議論
9	民主主義は国境を越えるか？	教科書① 115-131 頁に関する学生の発表と議論
10	「私」とは誰か？	教科書① 131-146 頁に関する学生の発表と議論
11	私は何をどこまでできるのか？ / できないのか？	教科書① 147-160 頁に関する学生の発表と議論
12	「私のこと」も政治か？	教科書① 161-176 頁に関する学生の発表と議論
13	「国民である」とはどのようなことか？	教科書① 177-190 頁に関する学生の発表と議論

14	異文化体験でわかりあえるか？	教科書① 191-204 頁に関する学生の発表と議論
<b>秋学期</b>		
回	テーマ	内容
1	公共性はどこにある？	教科書① 205-220 頁に関する学生の発表と議論
2	「市民である」とはどのようなことか？	教科書① 221-236 頁に関する学生の発表と議論
3	歴史とともに変化するシティズンシップ／社会・政治理論におけるシティズンシップ	教科書② 5-39 頁に関する学生の発表と議論
4	移民の時代におけるシティズンシップ／リベラルに進化するシティズンシップ	教科書② 40-52 頁に関する学生の発表と議論
5	地位としてのシティズンシップ／リベラル化しゆくシティズンシップ／シティズンシップがリベラル化した背景	教科書② 53-76 頁に関する学生の発表と議論
6	9・11後の新たな制限／再民族化するシティズンシップ／リベラル化の潮流と新たに導入された制限	教科書② 77-102 頁に関する学生の発表と議論
7	権利としてのシティズンシップ／多様性と社会的権利の衰退／外国人の権利—階層化され、回収される権利	教科書② 103-133 頁に関する学生の発表と議論
8	少数民族の権利—多文化主義なのか、反差別なのか／アイデンティティとしてのシティズンシップ／リベラル国家における統一	教科書② 134-171 頁に関する学生の発表と議論
9	シティズンシップの格上げと普遍主義の逆説／リベラルなアイデンティティとムスリムの排除／シティズンシップと国民性の再考	教科書② 172-202 頁に関する学生の発表と議論
10	「軽いシティズンシップ（シティズンシップ・ライト）」へ	教科書② 203-240 頁に関する学生の発表と議論
11	大中「越境するシティズンシップ」論文	同論文に関する学生の発表と議論
12	ローカルなシティズンシップについて考える	ニュース素材のなかから、ローカルなシティズンシップに関連する事例を学生が探し、論として構成する。
13	リージョナルなシティズンシップについて考える	ニュース素材のなかから、リージョナルなシティズンシップに関連する事例を学生が探し、論として構成する。
14	グローバルなシティズンシップについて考える	ニュース素材のなかから、グローバルなシティズンシップに関連する事例を学生が探し、論として構成する。
<b>【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】</b>		
1. 次回で扱われる教科書の内容を読む		
2. 海外メディアや国内の地方紙を毎日読んで、この演習と関係ありそうな記事をチェックする。		
3. 1 + 2 の合計学習時間が、週あたり 90 分程度となることを目指す。		
<b>【テキスト（教科書）】</b>		
【春～秋】教科書①田村哲樹・松元雅和・乙部延剛・山崎望『ここから始める政治理論』有斐閣、2017 年。		

管理 ID: 1805008  
授業コード: C1127

【秋】教科書②クリスチャン・ヨブケ『軽いシティズンシップ』遠藤乾・佐藤崇子・井口保宏・宮井健志訳、岩波書店、2013年。

【参考書】

ジェラルド・ノワリエル『フランスという坩堝』大中一彌・川崎亜紀子・太田悠介訳、法政大学出版社、2015年。

【成績評価の方法と基準】

次の1～5の項目それぞれを20%として評価

1. 授業内発表（レジュメ、新聞コーナー）
2. 授業参加・発言の積極性
3. ゼミの運営全般への協力
4. 期末提出物（タームペーパーなど）
5. 平常点

【学生の意見等からの気づき】

いわゆる「滑舌」が悪いので、学生の皆さんが聞きやすいように留意する。

【学生が準備すべき機器他】

報告原稿やさまざまな連絡、学期末の提出物の提出など、基本的にすべてウェブ上（授業支援システム）で行なう。また、新聞コーナーでのパソコン、タブレット等を用いたプレゼンを歓迎する。学外からの法政大学図書館のオンラインデータベースの利用ができるよう、VPN 接続の使い方をマスターすること [http://www.hosei.ac.jp/library/kensaku/gakugai\\_access.html](http://www.hosei.ac.jp/library/kensaku/gakugai_access.html)

【その他の重要事項】

進路について、定期的に個別の面接を実施している（特に大学院進学、留学、公務員試験、教職課程などについては早めにご相談を）。